

ふじのくに地球温暖化対策実行計画の 進捗評価

静岡県くらし・環境部 環境政策課

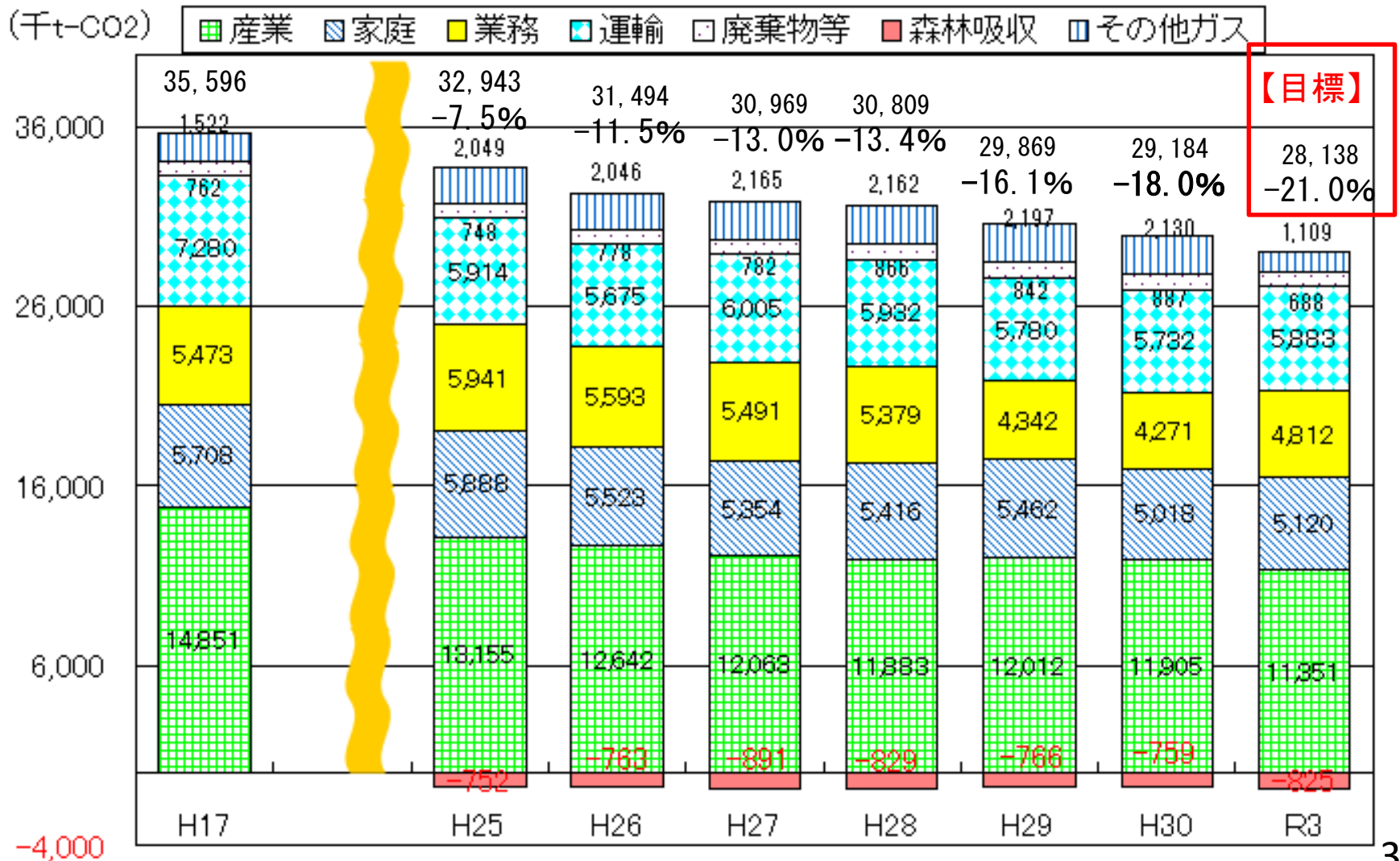
静岡県内の温室効果ガス排出状況（H30年度速報値）①

○平成30年度の温室効果ガス排出量（速報値）は、29,184千t-CO₂で、基準年度と比べ△18.0%

(千t-CO₂)

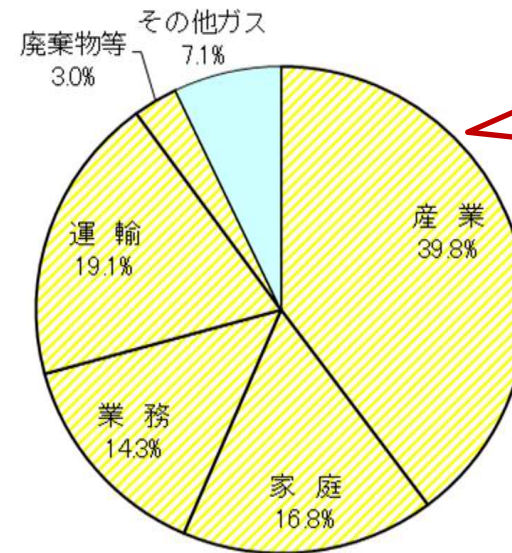
部 門	<基準年度(H17)>		<目標(R3)>				平成30年度(速報値)		
	排出量(A)	構成比	排出量		基準年度比削減率 (C-A)/A	排出量		基準年度比削減率 (D-A)/A	
			排出量(C)	構成比		排出量(D)	構成比		
二酸化炭素	(内 訳)	34,074	95.7%	27,854	96.2%	△ 18.3%	27,813	92.9%	△ 18.4%
	産 業	14,851	41.7%	11,351	39.2%	△ 23.6%	11,905	39.8%	△ 19.8%
	家 庭	5,708	16.0%	5,120	17.7%	△ 10.3%	5,018	16.8%	△ 12.1%
	業 務	5,473	15.4%	4,812	16.6%	△ 12.1%	4,271	14.3%	△ 22.0%
	運 輸	7,280	20.5%	5,883	20.3%	△ 19.2%	5,732	19.1%	△ 21.3%
	廃棄物等	762	2.1%	688	2.4%	△ 9.7%	887	3.0%	+ 16.5%
その他ガス	1,522	4.3%	1,109	3.8%	△ 27.1%	2,130	7.1%	+ 40.0%	
代替フロン	487	1.4%	355	1.2%	△ 27.1%	1,424	4.8%	+ 192.4%	
森林吸収	-	-	△ 825	-	-	△ 759	-	-	
総 計	35,596	-	28,138	-	△ 21.0%	29,184	-	△ 18.0%	

静岡県内の温室効果ガス排出状況（H30年度速報値）②



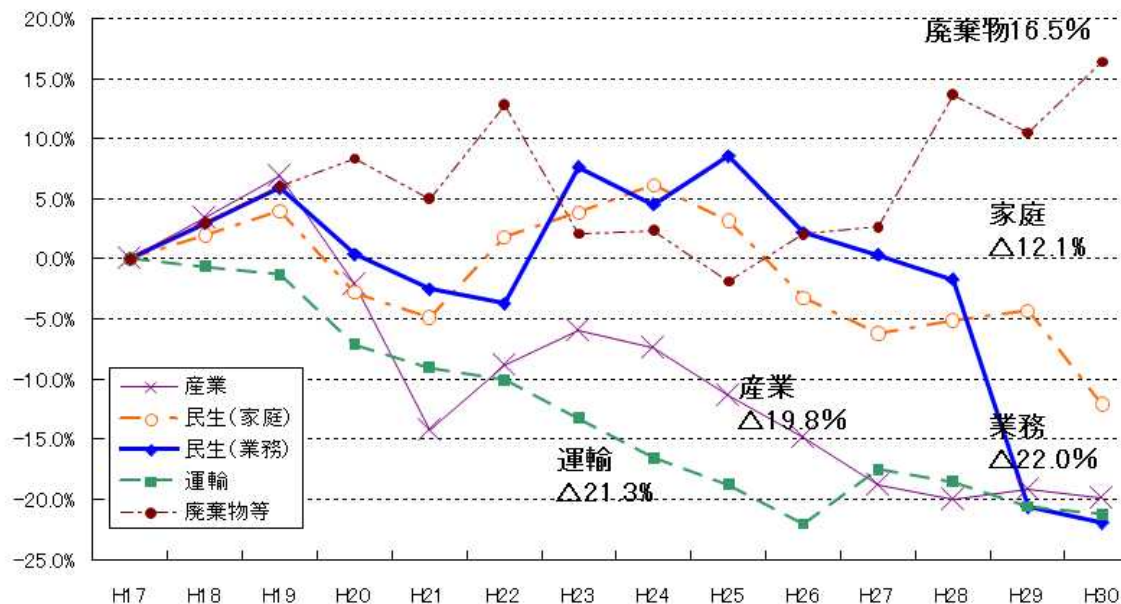
温室効果ガスの種類別と部門別の排出状況

温室効果ガスの部門別構成



二酸化炭素は
全体の93%

温室効果ガスの部門推移



排出量を決める要因①

エネルギー消費量

- 平成30年度のエネルギー消費量は平成17年度比22.5%減少

(T J)

部門	H17	H28	H29	H30	H30-H17 削減量	H30/H17 削減率
産業部門	185,074	135,301	138,196	141,124	-43,951	-23.7%
運輸部門	107,059	87,009	87,945	87,352	-19,708	-18.4%
家庭部門	65,959	54,748	57,136	53,738	-12,221	-18.5%
業務部門	60,504	54,400	41,705	42,121	-18,383	-30.4%
合計	418,597	331,459	324,981	324,334	-94,263	-22.5%

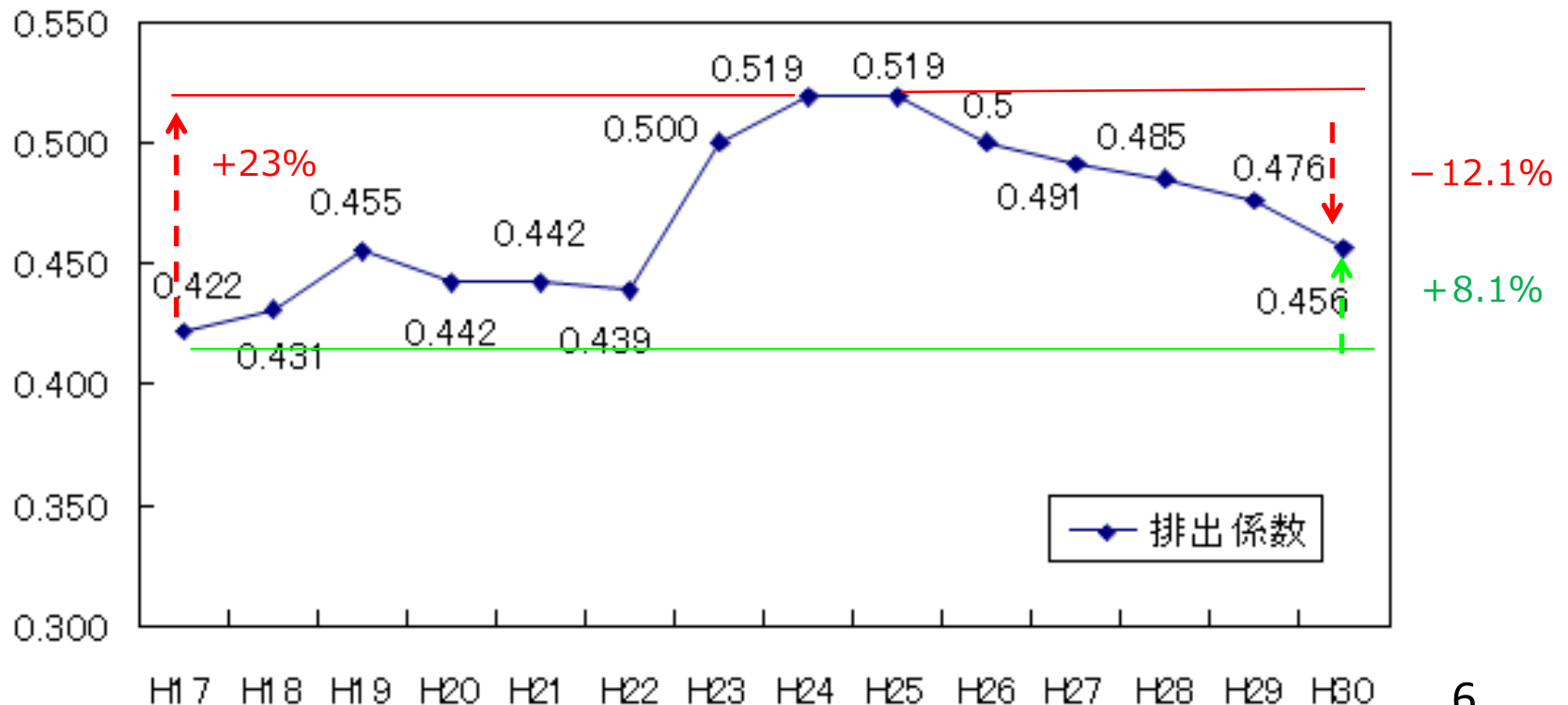
排出量を決める要因②

電力事業者の排出係数

排出係数とは、1kWh当たりの電力供給に排出されるCO₂量

- 東日本大震災以降、原子力発電所の停止、火力発電所の増強等により二酸化炭素の排出係数は大幅に悪化（H17→H24 +23%）
- 基準年度と比べて電力の二酸化炭素排出係数は8.1%増加

【電力事業者の排出係数の推移（東京電力・中部電力の加重平均）】
(t-CO₂/MWh)

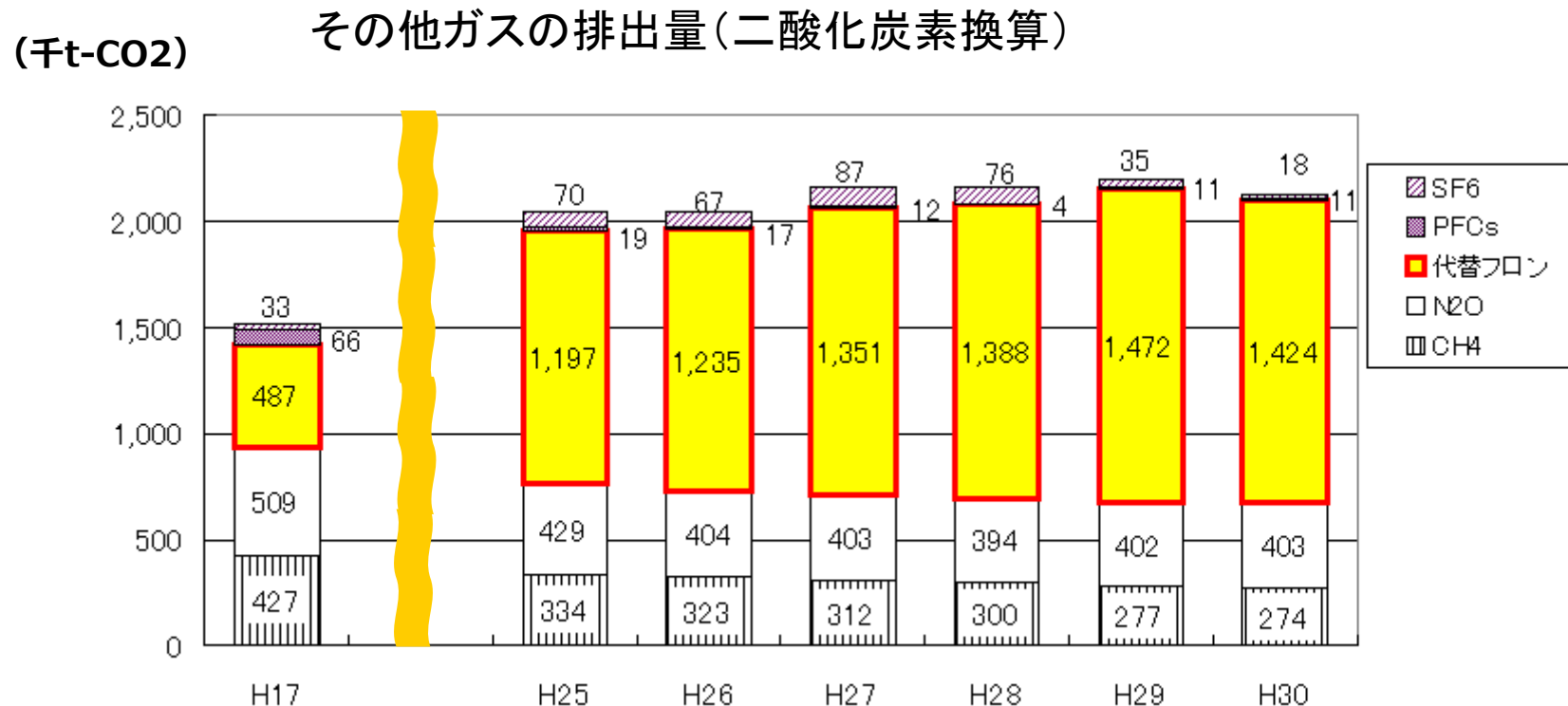


CO₂各部門排出量削減に向けた取組

部門	目標達成に向けた主な対策
産業部門	<ul style="list-style-type: none">✓改正温室効果ガス排出削減計画書制度の運用を通じた事務所の自主的削減の促進✓環境経営の普及促進✓ESG金融の普及促進
家庭部門	<ul style="list-style-type: none">✓県民運動ふじのくにCOOLチャレンジ等を通じた意識啓発✓住宅の断熱化・省エネ化の普及促進
業務部門	<ul style="list-style-type: none">✓業務用建築物の省エネ化促進✓ビル所有者等への専門家派遣✓省エネ紹介サイトによる普及✓環境経営の普及促進
運輸部門	<ul style="list-style-type: none">✓EV,PHV,FCV等次世代自動車やエコドライブの普及促進

排出量削減が進んでいない部門【代替フロン】

- オゾン層を破壊する特定フロンからオゾン層を破壊しない代替フロンへ転換は進んでいる
- 二酸化炭素の数千～1万倍の温室効果を持つ代替フロン（冷媒使用）を用いた冷凍機や空調機等は増加
- 機器廃棄時の代替フロンの回収率は3～4割と低迷
- 代替フロンが基準年度比 約3.0倍と大幅に増加



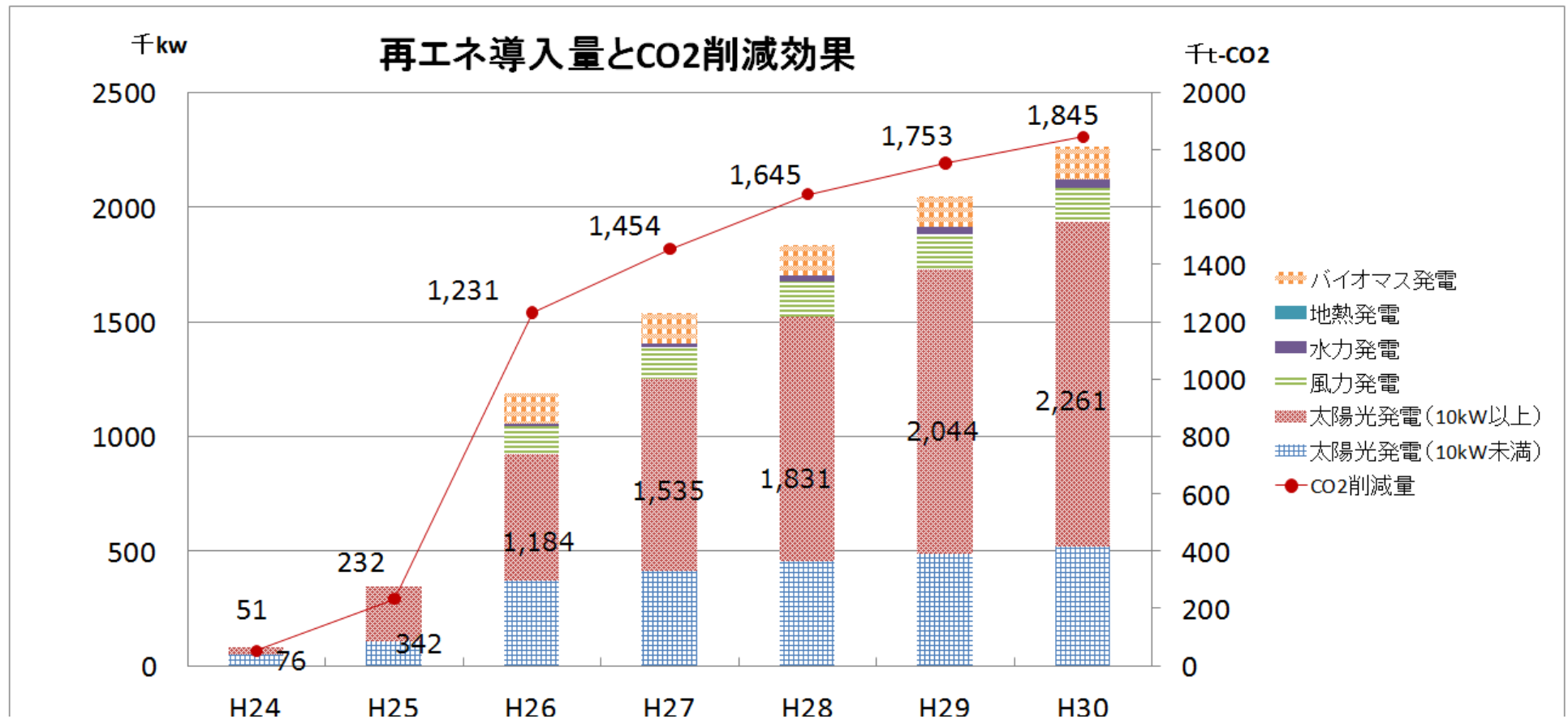
※その他ガス：メタン（CH4）、一酸化二窒素（N2O）、代替フロン、PFCs、SF6の5種類

代替フロン排出量削減に向けた取組

区分	内容
機器新設時の ノンフロン化	国庫補助金を活用しフロンを使用しない 冷凍空調機器への更新を促進
機器使用時の フロン漏えい防止	機器使用事業所への専門家派遣
機器廃棄時の フロン回収徹底	県、市町建設部局等と連携し、解体工事 業者へ機器廃棄時のフロン回収の指導

再エネ導入量とCO₂削減量

○県内の再エネ導入量は毎年増加しており、太陽光発電が全体の85%を占め、次いで風力、バイオマス、水力、地熱発電の順となっている。



静岡県森林状況

- 県内の森林は、県土の64%、497千ha、全国順位は16位
- 静岡県の森林吸収量は759千 t - CO₂

区分		全国	静岡県	全国順位	全国シェア
全域面積		37,797千ha	778千ha	13	2.1%
森林面積		25,048千ha	497千ha	16	2%
森林吸収量		△47,000 千t-CO ₂	△759 千t-CO ₂	—	1.6%
内訳	新規植林・ 再植林活動	△1,400 千t-CO ₂	3.7 千t-CO ₂	—	—
	森林減少活動	1,600 千t-CO ₂			
	森林経営活動	△47,200 千t-CO ₂	△763 千t-CO ₂	—	1.6%